

東日本大震災へのご協力をお願い

平成23年10月4日
公益財団法人 School Aid Japan
代表理事 渡邊 美樹

皆様

まずは日本史上最大といわれる、この度の東日本大震災で、被災された方々に慎んでお見舞い申し上げますとともに、亡くなられた方々に、心からのお悔やみとご冥福をお祈り申し上げます。

こうした時こそ、皆さんと心をつなげて、この国難を乗り越えていきたいと思えます。

私は、3月11日の東日本大震災発生から4日後の3月15日、食糧等の支援物資を満載したトラックに乗って宮城県庁に向かいました。東北自動車道は通行禁止で通れず、新潟・山形を回って、11時間かけて宮城県入りしました。

宮城県庁では知事が出迎えてくれ、以後の継続的な食糧等の支援を約束してきました。

次いで5月25日陸前高田市を訪問し、ボランティアが圧倒的に不足していると言う現実と直面しました。6月1日陸前高田市長より「参与」に委嘱され「復興プラン策定」に関わり「国に対して、被災地の現場の声を提言」していきま

す。

凄惨な津波被害から立ち上がり、復興に努力している現地の方々の勇気と努力に、敬服するとともに頭が下がります。「私ができる支援を、常に模索し実行しよう」と決意しました。

一人一人ができることは限られておりますが、一人一人が前に進むことでしか、復興が進まないこともまた事実です。

皆様も、趣旨に賛同頂けましたら、是非ご一緒に活動して参りましょう。一人でも多くの被災地の方の笑顔を願って。